

## 平成21年度 学校経営の改革方針

### ・目指す学校像(基本理念)

基本的な生活習慣・規範意識を身につけ、何事にも意欲的、誠実に取り組む創造性豊かな生徒を育てます。

生徒一人一人の夢が実現できる特色ある普通科単位制高校を目指します。

運動部や文化部の活動が活発な学校づくりを目指します。

### ・現状と課題

基本的な生活習慣・規範意識の定着と自主自律の生徒集団の育成

基本的な生活習慣の確立のため、遅刻の防止、交通安全指導、服装指導、清掃指導を行ってきました。今後も、継続して指導を行うとともに、「あいさつの久居、清掃の久居」と言われるような学校作りを推進しながら、社会生活を営む上で必要な基本的な生活習慣・規範意識を定着させ、積極的に自主自律のできる生徒集団を育成します。

キャリア教育の視点を意識した教育活動の展開

今日、就職・進学を問わず、進路を巡る環境は大きく変化しています。その状況の中、「生きる力」を身につけ、明確な目標や目的意識を持って日々の学校生活をおくる姿勢、主体的に自己の進路選択・決定できる能力やしっかりとした勤労観・職業観を身につけ、今後直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、自立していくことができる生徒を育てることが求められている。そのために全教職員がキャリア教育の視点を常に意識した教育活動を展開します。

地域から信頼される普通科単位制・コース制の確立

平成9年度から単位制を導入し、多様な選択科目を設置して、生徒の興味や関心そして適性や進路に応じた教育活動を実践してきました。今後は、地域からさらに信頼されるために基礎基本の徹底と個性伸長の教育を推進し、生徒のニーズに的確に対応できる充実した単位制を確立します。さらに、学校経営品質の観点から単位制や類型選択及びコース制の成果と課題を検証し、継続的に改善していくシステムを構築するとともに、単位制・コース制とその成果を久居高校の大きな強みと捉え、安定した志願者数の確保に繋げていきます。

意欲と活力のある教師集団の構築

単位制や類型選択性の実施に伴い、教職員はさまざまな科目を担当しており、科目の特色を生かすべく教材研究を行っています。そのために、幅広い教養と指導力が問われています。今後は、さらに充実した授業・「わかる授業」を実践するために、公開授業や校内研修を積極的に推進するとともに、率先して研究実践を行う意欲と活力のある教職員集団を構築します。

部活動の活性化

運動部や文化部において、すべての部員が目標実現のため活発に活動できる環境作りを目指して成果を挙げてきました。今後は、技術的指導ができる教職員の確保に努め、久居高校の特色のひとつの柱と捉え、さらに活性化を図ります。

危機管理と安全で安心な学校づくり

個人情報の管理を徹底するとともに、防災ハンドブックを作成して様々な危機に対応できるように保護者、地域及び関係機関との連携を深めてまいりました。今後も一層安全で安心な学校

づくりを目指します。

#### 環境・人権・平和を意識した学校経営

ISO 14001の認定取得の経験を生かし、校内での共通理解を深めながら、継続的かつ主体的に環境教育に取り組み、学校環境マネジメントを実践してきました。人権バリアフリーについては、ハード面でのバリアフリー化は進展してきていますが、生徒への教育としての心のバリアフリーの構築が一層必要となっています。そのために、近隣の特別支援学校との交流を推進するとともに、21世紀のキーワード環境、人権、平和を意識した学校経営を行います。

#### ・中長期的な重点目標

1. 「地域から信頼される学校」づくり(平成21年度)
  - ・基本的な生活習慣・規範意識の定着
  - ・基礎学力の定着と類型選択制の充実
  - ・キャリア教育の充実
  - ・部活動の充実
  - ・地元中学校を中心とした中学校との連携強化(生徒募集活動の再構築)
  - ・広報活動と内容の改善・充実

#### ・本年度の行動計画

(学校改革)

広報活動を充実させ本校の教育内容への理解を深めるとともに、安定した志願者数の確保に取り組みます。

- (1) 生徒募集活動を充実させ、学校全体をあげて的確な情報発信に取り組み、本校に対する理解を深めます。
- (2) 広報活動を見直すとともに、学校ホームページを刷新し、常に新しい情報を掲載し見やすくインパクトのあるものとします。
- (3) 国公立大学、難関私立大学への進学を視野に入れた類型選択制を推進し、幅広い進路ニーズにきめ細かく応える久居高校を実現します。

学校経営品質の向上を目指し、プログレス委員会を中心に本校の弱みの克服に取り組みます。

- (1) 広報活動、単位制や類型選択及びコース制等の成果と課題を検証し、職員会議、各種委員会に提案・提言を行い、改善につなげます。
- (2) 学校経営品質アセスメントを実施し、オフサイトミーティングでの全員参加による学校アセスメントにつなげます。
- (3) アセスメント集計結果をもとに、学習者の視点から、授業を含めた学校経営全般の質的向上の実現につながるよう、仕事の進め方を工夫、改善します。

(教科指導)

単位制における生徒の進路にあった教育課程の編成をめざします。

- (1) 生徒の進路希望に対応した教育課程を編成し、生徒の進路保障における満足度 80 %以上を目指します。
- (2) チャレンジコース・スポーツ科学コースのあり方と単位制の関わりについて研究するため、チャレンジコース推進委員会を年 4 回以上開催します。

教職員一人ひとりが情報活用能力を向上させる校内講習会を実施します。

- (1) 授業改善や円滑な校務処理ができるように、職員の PC リテラシー向上を目指します。
- (2) コンピュータの利用を通して職務の OA 化を促進します。  
さらにサーバコンピュータの活用により入学から卒業後までの統括的システム（入試処理・成績処理・各種証明書発行・調査書発行等のシステム）の完成を目指します。

「よりわかりやすい授業」をめざし、日々の授業改善に努めます。

- (1) 各教科で 3 年間を通した計画（チャート）を作成します。
- (2) 教科内研修（公開授業）、外部講師の講演などを実施し、教科内だけでなく、学校全体としての協力体制を築きます。
- (3) 年 1 回の授業公開週間を設け公開授業を行います。
- (4) 生徒授業評価について試行します。

(生徒指導)

基本的な生活習慣を身につけさせ、高校生として自覚を持った生徒を育成します。

- (1) 服装の乱れは生活の乱れと捉え、月一回の服装指導を行うとともに、久居高校生としての品格を高め清潔で端正な身なりを心がけるよう、教職員一丸となって身だしなみについて指導を行って行きます。
- (2) 日頃から挨拶がきちりでき、また正しい言葉使いができる生徒の育成に努めます。
- (3) 自転車通学が多いことから、交通安全指導、マナー指導が必要であり、月 1 回の登校指導を行います。
- (4) 時間の大切さを学校生活のさまざまな場面で考えさせ、特に朝の遅刻減少の取り組みを行い、前年度比 10 % 減を目標として校門指導の徹底を図ります。
- (5) 担任による朝・放課後の教室の巡回を行うとともに、日頃から掃除指導には全教職員が当たり、また月 1 回の大掃除の徹底をはかり、きれいな学校環境づくりをします。
- (6) 全校集会において、三ない運動の意義を徹底させるとともに、暴走行為への指導を学期始

め・終わりに行います。

(7) 喫煙防止の意識を高めるため、喫煙防止の集会や学年会を実施し喫煙指導生徒数0を目指します。

(8) 「いじめ」の早期発見・早期対応にむけて取り組みます。

(進路指導)

各学年団との連携を密にして、3年生はもとより、1年生・2年生に対する意識付けを早期から積極的に行い、自ら考え、進路実現ができる生徒を育成し、それをサポートしていきます。

(1) 自らの力で進路実現していく一つの指針として、センター試験に積極的に挑戦させ、それが確実に活かせるように導きます。「始まりは三重大(センター試験)から」をキャッチフレーズに、受験者数を15名を超えることを目標とします。

(2) 1年生に対しては、様々な可能性の存在を意識させ、幅広い進路選択ができるようなチャレンジコース選択、科目選択を促すとともに、自らの努力によって理想に近づいていく姿勢を身につけさせます。そのために、道筋や方法が具体的に分かるガイダンスや講座を、年2回以上実施します。また、基礎力充実のための課外授業を組み、学力補充に努めます。

(3) 2年生に対しては、自らの進む方向を定めさせ、その実現に向けたプロセスを提示するためのガイダンスを実施します。特に早い時点からの取り組みが必要な、就職、公務員、医療・看護分野への進学対策をスタートさせます。また、センター入試や四年制大学入試に対応できる学力を養うための課外授業を学年団と連携して実施します。

(4) 3年生では、2年生からの取り組みを継続していくとともに、全員が進路希望を実現できるよう、また安易な進路選択をしてしまわないように、個別面談の実施など、個々人への指導を強化します。ねばり強く、最後まで諦めない姿勢で臨ませるとともに、一人一人の進路実現を皆で喜び合える雰囲気を作り出します。また3年生の二学期末から1月まで、受験生に対する特別指導を実施します。

(5) 自ら生きる力をつけるためのキャリア教育の視点を意識した進路指導を目指します。特に今年度は商工会議所のインターンシップ事業に参加し、自ら職業観を養えるよう努めます。

(人権同和教育)

人権意識の高い生徒の育成を保護者・教職員が協力してすすめます。

(1) 新入生の人権意識調査から課題を見つけ、それらを解決するための人権学習の計画をすすめます。

(2) 人権サークルを活性化を目指し、週1回の活動を行います。

(3) 生徒の課題を把握し、関係する分掌・学年が連携してきめの細かい指導をすすめます。

(4) 教職員研修会を学期に1回以上開催し内容を充実させます。

(5) 人権講演会を人権学習の中心として捉え、それと連携した学習計画を学年団と連携してすすめます。

- ( 6 ) P T A ・生徒会 ・地域などと連携し学習内容の精選に努め、県の推進事業に参加します。
- ( 7 ) 校内外の人権に係る研修会への積極的な参加をとおして、教職員の人権意識のさらなる向上に努めます。教職員一人 1 回以上の参加をすすめます。
- ( 8 ) 人権 ・同和教育推進委員会を月 1 回以上開催し、情報共有に努めます。

(保健)

生徒の実態を把握し、安全 ・健康を増進する活動を推進します。

- ( 1 ) 生徒の安全確保と健康増進活動の展開
  - ・各種検診、環境衛生検査を実施します。
  - ・職員向け救急救命講習の計画 ・実施を行います。
- ( 2 ) 相談しやすい人間関係の構築や環境整備
  - ・教育相談担当を含めた保健部と学年 ・部との連携をはかります。
  - ・来室者に対する受容的で継続的な取り組みを実践します。
- ( 3 ) 職員が安心して働ける職場環境の整備
  - ・職員健康診断のとりまとめと職員対象の健康相談を実施します。
  - ・職場巡視を実施します。

(教育相談)

生徒一人ひとりが心豊かに学校生活を送れるよう、生徒の様々な悩みに耳を傾け相談に応じます。

- ( 1 ) 教育相談室に教育相談担当が常駐し、生徒の相談に応じます。
- ( 2 ) 毎月、「教育相談の案内」を作成して HR 配布し、教育相談室の利用を呼びかけます。
- ( 3 ) 毎月、一回、教育相談専門員が来校し、専門的な立場から生徒の相談に対応すると共に、教職員等への助言をします。

(図書)

読書に対する関心を高め学力向上に貢献する取り組みを行います。

- ( 1 ) 「図書ニュース」を月 1 回定期的に発行し、新着図書や生徒の興味ある本の紹介を行い、図書への関心を高めます。
- ( 2 ) 図書館オリエンテーションは、国語科の協力を得て、国語の授業時間中に、図書館で行い、図書館を身近に感じてもらい、利用促進を目指します。
- ( 3 ) 読書感想文コンクールへ、国語科の協力を得て参加し、読書量を増やします。
- ( 4 ) 貸出総数の 3 , 0 0 0 冊の達成を目指します。

分かりやすい授業ができるよう、視聴覚機器の活用を促進します。

- ( 1 ) 視聴覚機器の活用法の講習会を実施します。また、必要に応じて対応します。

- (2) 視聴覚教室・準備室の整備、機器の点検・補修・管理・拡充・貸出に取り組みます。
- (3) 「学校紹介ビデオ」の作成に参画します。
- (4) 2011年の地デジ化にむけ、機器の拡充を更に進めます。

(学年)

学年目標を設定し、目標実現に取り組みます。

- (1) 1学年では、基本的な生活習慣の確立と規範意識を養うことを目指します。挨拶を習慣づけ、人の話を聴く態度を身につけさせるとともに、進路指導部などと連携し、キャリア教育の観点を意識した取り組みを進めます。また、友情を育む環境作りを目指し、授業だけでなく学校行事や部活動の充実を目指します。
- (2) 2学年では、規範意識を育て基本的な生活習慣の確立を目指します。人の話を聴く態度を身につけさせ、「5分前行動」を合い言葉に時間や提出期限を守る生徒を育成します。また、一人ひとりの居場所を確保しつつ友情を育む環境作りを目指し、授業だけでなく学校行事や部活動の充実を目指します。
- (3) 3学年では、自己の進路実現に向け自ら積極的に取り組むことを中心に、規範意識が高く且つ自他ともにその尊厳を重んじる生徒を育成します。

(国際交流)

姉妹校（オーストラリア・ギラウィン高校）の留学生の受け入れ・姉妹校への生徒派遣を通して、様々な文化や言語を学び、生徒の国際感覚を養います。

- (1) 姉妹校のギラウィン（オーストラリア）高校からの留学生を受け入れ、留学生のホームステイや、本校での学習を通して、お互いの交流を深めます。
- (2) 姉妹校のギラウィン（オーストラリア）高校への生徒の派遣を実施し、言語だけでなく文化や生活を学ぶ機会をつくります。
- (3) 写真展などを通して、海外研修の報告を行い、他生徒と情報を共有し、興味・関心を引き出します。

(学校環境マネジメント)

学校環境マネジメントにおける環境目的・環境目標を設定し、それを実行します。

- (1) 今年度の消費電力は、2008年度の使用量を超えません。
- (2) 今年度のコピー紙の使用量は、2008年度の使用量を超えません。
- (3) 環境負荷の低減のための教育を計画し、計画の項目に対する実施率を前年度以上にするとともに、内容についても充実を図ります。

(事務室の業務の取組方針)

信頼される「開かれた事務室」運営に努めます。

- ( 1 ) 予算の適正かつ効率的な執行を行います。
- ( 2 ) 事務室内の意思疎通、情報の共有化を進めるとともに、相互に相談できる雰囲気醸成します。

(危機管理)

安全で安心な学校を作ります。

- ( 1 ) 個人情報管理点検を毎月 2 回実施します。
- ( 2 ) 防災ハンドブックを作り、生徒全員に配布します。
- ( 3 ) 全校生徒を対象に、防災講話・訓練を実施します。

(部活動)

運動部、文化部とも技術的指導ができる教職員の確保に努め、久居高校の特色のひとつの柱と捉え、さらに活性化を図ります。